

## 盛岡市立病院第3次経営改善計画の取組についての評価（案）

第3次経営改善計画の初年度である平成27年度は、患者数は計画値よりも入院で4,263人、外来では1,564人下回りました。

入院収益は、患者数が計画に届かなかったため、計画値から156,786千円下回り、外来収益は、診療単価が見込みを上回ったため、計画値を22,208千円上回りました。医業外収益は、一般会計からの繰入金で計画を上回ったため、83,076千円上回りました。収益合計では89,848千円下回りました。

費用については、給与費、材料費、経費がそれぞれ計画値を下回ったことから、医業費用は101,933千円下回り、費用合計では110,171千円下回りました。

この結果、計画で見込んでいた141,985千円を20,323千円上回る162,308千円の純利益を計上しました。

また、各部門が設定した収益目標以外のアクションプランについては、43項目に取組むこととし、目標達成率80%以上と評価したものが35項目で81.4%を占めました。

以上のことから、平成27年度は、平成7年度決算以来20年ぶりとなる純利益を確保し、「盛岡市立病院第3次経営改善計画」の目標である単年度収支均衡を達成するとともに、職員総参加によるアクションプランも積極的に推進していることから、経営改善は着実に成果を上げているものと評価します。

今後は、医師の確保、地域包括ケア病棟の活用、他の医療機関や介護施設等との連携強化等に積極的に取り組み、さらなる収益の確保を図るとともに、アクションプランの達成率が高かった項目についてはレベルを維持し、達成率が低かった項目については目標を達成するよう全員参加の経営改善を進め、平成28年度以降も第3次経営改善計画において目標としている単年度収支均衡が維持できるよう、より一層の努力を望みます。

平成28年11月9日

盛岡市立病院経営評価委員会